



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

2026年
2月
934号
(79期8号)

2025-2026年度 主題

- 西宮クラブ会長 小野勅紘 「メンバーの個性を生かして最大限にクラブ活動を楽しもう！」
- 六甲部メネット委員長 濱崎進一 「協働活動の強化、交流活動の展開」
- 六甲部部长 柳敏晴(神戸西) 「温故知新」 「六甲部にウエルビーイング」
- 西日本区理事 中井信一(奈良) 「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう！！」
「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」
- アジア太平洋地域会長 田上正(熊本むさし) 「信念と愛をもって行動しよう」
- 国際会長 エドワード・オン(シンガポール) 「信念、愛、行動」

2月 西日本区強調活動 TOF・FF

飢餓に苦しむ人々のために TOF・FF に献金をお願いします。
身近な地域でも同様の困り事のある方々に思いを寄せましょう。

丹吾 礼 地域奉仕・環境事業主任 (大阪土佐堀)

西宮ワイズメンズクラブ 2月第一例会

日時：2月13日(金) 18:00~20:00
場所：山本邸(キララ住吉 JR 住吉南徒歩2分)
会費：1,000円
ドライバー：小野勅紘、山口吉郎

- 開会挨拶~今月の聖句 小野
- 食前感謝 小野
- 万本シェフのお料理で懇親会
MENU
・カブレーゼ
・キャビア サルサメヒカーナ バゲット
・グリーン サラダ
・スモークサーモン
・鶏肉のハーブ焼き
・牛肉タマネギ炒め
・炊き込みご飯 味噌汁
- お誕生日のお祝い
- ワイズニュース 小野
- YMCAニュース 森川
- 閉会の挨拶 小野

2月誕生日のお祝い

- 3日 小野 勅紘メン
- 12日 阪根 紀子メネット
- 21日 山本 常雄メン
- 23日 西山 安子メネット

今月の聖句

二人または三人がわたしの名によって集るところに、わたしもその中にいるのである。

マタイによる福音書第18章20節
小野勅紘選

1月出席状況 (在籍会員数 19名)

第一例会 (12月)		第二例会 (23日)	
メン	14名	メン	7名
メネット	1名	メネット	0名
ゲスト	1名	ゲスト	0名
MU	0名		
合計	14名	出席率	74%

ファンド

	1月	累計
ニコニコ	¥4,000	¥25,500
BF	¥0	¥14,600

会長 小野 勅紘 直前会長 濱崎 進一 副会長(次期会長) 副会長 万本 敬一
書記 浅野 純一, 山口 吉郎 会計 濱崎 進一 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介

会長メッセージ

1年で一番寒い季節、皆さんお風邪など召されないようご注意ください

会長 小野 勅紘



2025-26年度も後半に入り“逃げる”という2月を迎えました。気象予報地図でも列島全体が真っ青になっていました。ブルブル

1. エアコンの故障でブルブル

私事ですが、ここ2、3年エアコンのコンセント部分からブスブス煙が立ち込めて、あわや焼け死ぬところでした。何か電気容量が合っていないのかも知れません。従って冬場はホカロンを大量に買い込んで寝袋に投入し寝ています。そのせいか冬場はいつも風邪気味で参っています。早くハールよ来いとみいちゃんのように春を待っています。高齢者は肺炎になると命取りで気を付けたいもの。

2. 参加の少ない西宮クラブ

さて後半期は毎年のことですが、大変慌ただしい時期になり、予定が立て込んで思うようにことが運べないという悩み。中でも1月には六甲部の恒例のYYYフォーラムという大きな行事があります。何度も申し上げていることですが、西宮クラブは何事にも出席率が悪くて、近隣のクラブからは「西宮クラブはいつも小野さんだけやね。他の人はどうしてるの？」と嫌な苦言を賜ります。私は苦笑しながらも「我がクラブは高齢化が進んで、かつ健康上の課題を抱えておられる方が多いのですよ」とお答えしているような状況です。

3. ワイズはオリンピック！参加に意義

期初からも何度もお知らせしているように、「ワイズはオリンピック。参加することに意義がある」という姿勢は変わっておりません。丸山ワイズとともに大阪在住の私が苦慮して参加しているのですから、西宮近傍の方は参加出来るはずなのに・・・という思いが毎回。ご病気の西山ワイズが徐々に1月例会にお出でになったことは嬉しかったです。

4. 権利と義務（ワイズのモットー）

せめて第一例会でも必ず参加していただきたいと願っております。ワイズには権利には義務が伴

うという不可分のモットーがあります。（皆さんワイズソングで手を上げているでしょう）。厳しい会則では「会費負担」と「例会出席」は鉄則です。本来なら退会になるところですが、そうすると誰もいなくなるという絶望的な未来。それぞれが会長や主査などを務めることも大切な義務の履行です。（順番の当番のようなもの）

5. 濱崎ワイズの頑張りに拍手

15年ほど以前にこんな話がありました。濱崎ワイズは当時はダンプや生コン車などの大型特殊車両の営業に従事されていて、担当地域は奈良、和歌山と遠方。しかし、そんな中例会の終了10分前に会場に飛び込んできてそれで100%達成になり、皆で拍手したことが何度かありました。私は濱崎ワイズが急ぐ余りに事故でも起こしやしないかヒヤヒヤしていました。それでも間に合った時の濱崎ワイズの満足感に溢れた笑顔と、全員が待つという温かい姿勢に「これぞワイズだ」と胸が熱くなった記憶が蘇ってきます。

6. 会社のOBOG会への出席

私は会社のOBOG会に両親が亡くなった定年直後を除いて毎回100%参加しています。亡くなった父の言葉で「竹睦会（会社のOBOG会）に参加出来なくなったら、健康ではなくなっている。それが健康の証明でもあるのだ」と。健康第一という父の言葉は遺言の言葉にもなりました。OBOG会の会報には定年直後を除いて20年間連続で投稿してきました。当初は「旅行の話」「病気の話」「仕事の話」は禁句として避けてきました。しかし、この5、6年、大病や怪我などで入院手術を受けるようになり、後期高齢者にもなったので、少しづつご披露しております。仕事の話も後輩たちのためになると思えば少しづつご披露していくつもりです。

7. 誰が教えてやるものか

過去に私が定年の時のお祝いの席で、ある若手の後輩が皮肉のつもりだったのでしょか、「小野さんからは「飛び込み営業」の極意を教えていただけなかった」と、してやっつりの表情で挨拶していたが、「飛び込み営業の極意なんてあるわけがない。各自が自分の智恵と経験から工夫して独自の手法を開拓するものだ。誰が教えてやるも

のか」と思っていました。そういった後輩たちももうその頃の私の年代に近づいている。死んでまで持っていけるものではない。少しはご披露していこうかと思っています。

8. 新たな出会いを求めて①

また「旅行の話」は誰と何処に行ってどうだったかは個人の感性で違うものであるからご披露しても捉え方は千差万別。各自の思い出に取っておきたい。そんな思いがワイズには秘められています。部会やアジア地域大会、国際大会などでの参加で多くの友人を得ました。これは私自身の宝物でもある。2006年釜山国際大会以来、毎年主に東南アジアや北欧中心に出かけたが、今年のドライ国際大会が10月頃にあるようで、円安で費用も倍以上になっている。今年は控えようかと思う。来年以降は未知数ですが、また新たな出会いを楽しみにしています。

9. 新しい出会いを求めて②

皆様もワイズでの新しい出会いを大いに楽しむではありませんか。昨年亡くなった宮地メネットは晩年多くの海外旅行で楽しく多くの友人を得られたようでした。美味しい料理と美味しいお酒そして気の置けない仲間がいれば人生は楽しいもの。そんな楽しい人生でありたいものです。カラオケばかり、ギターばかり、俳句ばかり、大いに人生を楽しもうではありませんか。

10. 真の価値を求めて

私には500台ものクラシックカメラのコレクションの山があります。これをどうするかも頭の痛いもの。耐用年数の価値から①木製、②金属製、③プラスチック製などで、電気、電子部品が使用されている物。といった順位で③が二足三文で一番価値が低い。

11. 価値と資産のバランス

償却資産をどれだけ持つかが資産形成の中での落とし穴です。ですから昭和後期の電気、電子使用の物はカメラに限らず価値が低いもの。中でも一番価値があるようでないものの代表が「車」です。耐用年数が5年と短い。償却資産以外で価値が減らない代表が土地です。絶対であった土地の価値が崩れたのが所謂「バブルの崩壊」。またマンションが上がっているのではありません。土地

が上がっているのです。建物はどんどん老朽化していくのです。マンションの高騰はいざという時に逃げてくる中国人セレブの爆買いのようで危険極まりないようです。日本人は逆に人口減少しているのにねえ!未だにバランスが狂っています。

1月第一例会(新年会)報告

ドライバー 浅野 純一・西山 茂夫

1月12日成人の日の祝日、午後1時から3時まで、阪急西宮北口の「ふじや本店」で新年会を行いました。1月例会を新年会にして、今年で3年目です。夜間に外出して飲食をすることを困難に感じられている方がおられますが、そのような方に参加していただくことを第一に考えてお昼の時間帯に会を設けました。今年も16名の方々が参加されました。とくに西山メンが遠く舞子から参加いただきました。1年ぶりに西山メンにお会いでき、西山メンが楽しくされていること何よりうれしいことでした。西山メンの参加には山本メンにご苦勞いただきました。山本メンが西山メンのご自宅まで送迎されました。山本メンご苦勞様でした。メンに感謝いたします。足立メンも「お昼なら」と参加されました。

小野会長の開会の挨拶に続き、岩田メンの乾杯の発声で会食が始まりました。各参加者より近況報告あるいは新年の抱負を話していただきました。また、神戸ポートクラブの田代雅彦メンがピジターとして



参加され、同クラブが主催されるチャリティーコンサート(4月28日・神戸聖愛教会)のアピールをされました。3名の方のお誕生日(濱崎メン、廣瀬メン、濱メネット、なお、石井メン

は欠席されました)をお祝いしました。そして、小野会長の閉会の辞、記念撮影をして会を終えました。来年もやろうとの声があったこと、ドライバーとして有難いことでした。出席者は敬称略で、浅野、足立、岩田、小野、西山、濱、濱崎、廣瀬、廣瀬メネット、藤原、丸山、万本、森川、山口、山本、田代(ポートクラブ)の皆さんでした。



YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

育成センターでは 1 月 6 日から始まった「けん玉検定」が、今とても盛り上がっています。毎週 2 回の検定に向けて、自由遊びの時間にも自然とけん玉を手にする子が増えました。黙々と自分の技を練習する姿もあれば、「三回中一回で〇〇しよう！」と輪になって順番にチャレンジするグループも。「けん玉検定どこまでいった?」「この技のコツはこうだよ」と教え合ったり、みんなで「できたー!」と喜び合ったりする様子があちこちで見られます。けん玉は一人で向き合うものですが、技ができたときの「おめでとう!」や「次は絶対できるよ!」という声が飛び交い、自分のことのように喜ぶ姿に、心が温かくなります。検定を通じて、子どもたちは自分との向き合い方を学びながらも、お互いを認め、励まし合う関係性が少しずつ深まっていることを感じます。みんなで同じ目標に向かう一体感が、センター全体を明るくしています。2 月も、子どもたちの小さな挑戦と大きな「できた!」の瞬間を、一緒に見守っていきたいと思います。



YYY フォーラム

1 月 25 日、2025 年度神戸 YMCA YYY フォーラム「若者にとっての居場所の意味～ユースワークの視点から考える～」を予定通り開催され、YMCA 職員をはじめ、ワイズメンズクラブや維持会員の皆さま、また後援団体の方々、総勢 65 名が集まり、講師の青山鉄兵氏とともに、「若者の居場所」について学びの時を持つことができました。青山氏の軽快なトークはとても面白く、学びが多くある内容でした。参加された皆様は、チャット形式で青山氏と随時コミュニケーションを取ることができるのも魅力の一つでした。結果としての「成果」がうまれるという言葉が印象的でした。

今後の予定 [ワイズ/YMCA]

- 2 月 13 日(金) 18:00- 第一例会(山本邸出張例会)
- 2 月 15 日(日) びわこ部部会
- 2 月 27 日(金) 第二例会
- 3 月 4 日(水) 日本語スピーチコンテスト
ピフレホール(長田)
- 3 月 27 日(金)-29 日(日) きらりと輝くアート展
原田の森ギャラリー



バコパ(スノーフレーク)

編集後記

ブリテン委員長 山口 吉郎

★今月は万本シェフに腕を振るっていただき山本邸にて出張例会★どんな料理が出るかお楽しみ★TOF 月での会食ですがご容赦ください★